



9月お彼岸を過ぎ、ようやく涼しさを空気に感じられる日が来ました。グリラ参観詐欺のような1週間。申し訳ございませんでした。気温が下がればグリラ参観も、運動会も行ないます。ぜひお時間を作ってお越しください。

臼井幼稚園には色んなお子さんが在籍しています。特別に支援の必要なお子さんが年々増えているのは、当園のことばかりでなく、他園の園長先生方もそうおっしゃっています。そしてここ10年くらいのことですが、クラスがなかなかまとまらない、というも頭を傾げて何故だろう？と不安視しているところです。

幼稚園の設置基準の第三条において、「1学級の幼児数は、35人以下を原則とする」と定められていて、臼井幼稚園については昨今30名を下回る人数です。さらに特別支援のお子さんのサポートのために各クラス最低1人は支援の先生が入っています。

先生がクラスの全員に話をしている時、「僕はね、」、「私は、」と自分の話を始めてしまい、担任が話したくても進まないことがあるのです。その子に悪気はなく、先生との1対1の関係を求めてくるのです。でも、担任が話そうとしているのに「僕ね、」と始まったらどうでしょう。困った子、気になる子、とのレッテルを貼られてしまうこともあります。

どうしてこの子はこのタイミングで「先生、先生」と求めたのでしょうか。この答えとも言えるものを上原文先生の文章に見つけられたので、保護者の皆さまにも関係のあることですので、そのまま記載させていただきます。

以下、上野先生の文章より

人間はもともと「集団の中でつながり合って生きる動物」です。けれど他の動物とは違い、人間は、集団に入る前の段階がとても重要です。この段階で「個・自我の安定」を得ることが必要不可欠で、これがないと、集団にうまく入っていくことができません。

「ありのままを受け入れてもらえる」

この受容があつてこそ、心の奥底が安定します。記憶に残らないこの時期の対応が人間の一生を決めると言っても過言ではないのです。～中略～心の安定を得られないまま成長してしまった結果、様々な問題が起きてしまっている気がしてなりません。

女性の社会進出とともに、子どもを小さいうちから保育園などに預け、集団の中で育てる傾向があります。これはみなさんのせいではなく、社会の構造が、母となった女性も働かなくては生活していけない社会構造に問題があると私は思います。そしてもうひとつは、スマホです。赤ちゃんにお乳をあげながらスマホをいじったり、子どもに話しかけられているのに、上の空で返事をしたり、「あとで」「待って」と子どもが二の次になってしまう。

心も成長していくものです。そこを踏み外すと、次の段階に進めず、あとあとまで影響するそうです。目の前のお子さんの情緒の成長と安定のための「受容」を、ご両親も、私たち保育者もしっかりとしていく必要があると感じています。

子どもは、自分だけが受容されたいのです。「先生（パパ、ママ）が僕を見てくれている」という安心感は気持ちを安定させます。安定すると、周囲が見えてき、他の子を思いやれるのはそれからとなります。

小学校以降、学級崩壊、不登校、ひきこもりなどが社会問題化しています。虐待もあとを絶たず、増加傾向にあります。心の発達が無熟なまま身体だけ成長してしまった子ども達の出している、やるせないSOSに思えます。子ども達の心の安全基地となれるように、子育てを一緒に考えていきましょう。悩みがあれば、いつでもお話しください。

（参考：世界文化社 pripriより上原文 社会保険福祉士）

*佐倉市の美術展に昨年度出展してみましたが、園児の作品の中から数点選び出すのが心苦しいのと、どうみても保育者の手が入っている作品に金賞がついているのを見て、嫌悪感を抱いてしまい、今年度はまた出さないことにしました。

*毎年梨狩りにご協力くださっていた出山梨園様が、梨の栽培を今年より中止するとのこと。幼稚園児の梨狩りにご協力くださる梨園が見つからないので、今年度より 梨狩りは中止します。

園長 志田裕美子

<年少組今月の目標>

健康・・園外に出かける時の交通ルールを知る。
人間関係・・友だちを名前で呼ぶ。
環境・・自然や虫に親しみを持つ。
言葉・・「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。
造形・・壁面
音楽・・「どんぐりころころ」「やきいもグーチーパー」
「かわいいかくれんぼ」「バスごっこ」

<担任から今月のメッセージ>

夏休み明け、久しぶりにみんなに会えるので嬉しさもあつたのですが、少し緊張していました。

「ゆうが先生おはよう！」と、元気な挨拶で緊張が和らぎ、これからまたみんなとたくさん遊び、活動できることに

ワクワクしました！

「〇〇ね、おばあちゃん家に行ったの！」

「おっきい花火見たんだよ！」

「プールは流れてるプールが楽しかった！海も行ったんだよ！」

と、楽しかった思い出話をたくさん話してくれました。真っ黒に日焼けした子や背が伸びた子、髪を切った子など、いろんな変化がありましたが、中身は変わらず可愛いみんなで安心しました。

初日に朝の集まりをしていると、空になった虫かごに気がついた子が

「いもむしどこいったの？」

と聞いてくれました。臼井幼稚園のInstagramに動画が載っているのですが、それを見た子からは

「ちょうちょちゃん飛んでいったんだよね！」

「〇〇もばいばーいってしたかった。」

と、言うてくれました。

まだ動画を見ていない子もいたので、みんなで動画を見ると

「みどりだったのにきれいなちょうちょになったの?!」

と、驚いている子や

「またいもむし捕まえない！」

と、次を楽しみにしている子もいました。

1 学期の時のイモムシを覚えていて、ちょうちょに成長した感動をみんなと共有できて嬉しかったです。

運動会ごっこが始まりました。9 月とは思えないほど暑い日が続いていて、なかなか外での運動会ごっこができていませんが、体育参観よりも成長したみんなをお見せできたらと思っています。

9 月からいちご組に新しい友だちが増えました！かたやま かるむくん です！これからみんなで遊び、いろんな経験を通して仲良く慣れたらなと思います。いちご組が 22 名になりました。

これからもパワフルで友達思いないちご組さんを、よろしく願いいたします！

杉本 ゆうが

